

デジタルチトランスデューサ

KA2C

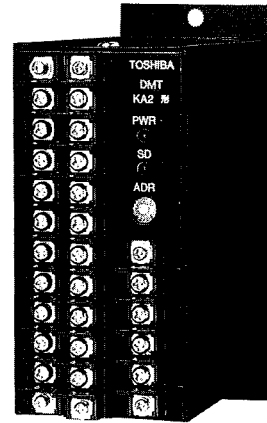
アナログ(4入力)

■概要

「デジタルチトランスデューサ」は外部トランスデューサからの直流電圧、直流電流をデジタル信号に変換しシリアル信号でデータを出力します。

■特長

- 複合機能形のため取付けスペースが節約できます。
- シリアル出力信号(RS485)のため配線が簡素化できます。
- 専用LSI使用により高信頼度です。
- 入力と出力はフォトカプラにより分離されています。
- 電圧入力、電流入力はユーザ側で切換え可能です。



■演算部仕様

項目	DC電圧入力	DC電流入力
測定回路	DC 0 ~ +5 V Zin ≥ 1MΩ	DC 0 ~ 20mA Zin ≈ 250Ω
入力範囲	DC 0 ~ +5.5V	DC 0 ~ 22mA
*1 許容差	±0.5%	
サンプリング時間	1秒/項目	
*2 応答時間	最大4秒	
電源	定格電圧 AC100/110V、50/60Hz (電圧変動範囲 -10% ~ +10%)	
絶縁耐圧	AC2000V (電源)	
負担	MA-MB: 4VA	
通信方式	半二重通信方式	
伝送速度	19200bps	
伝送距離	1000m(Max)	
伝送回路特性	RS485	
動作温度範囲	-10 ~ 55°C	
構造	表面取付、前面接続	

注1) 許容差はJEMIS規格に準拠。誤差の算出方法は次式による。

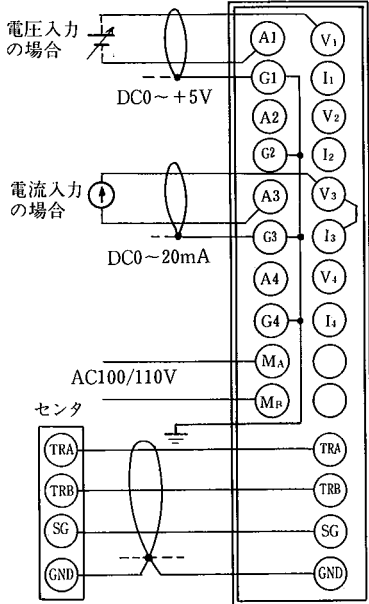
$$\text{誤差} = (\text{出力の真値} - \text{出力の規定値}) / \text{基底値}$$

ただし、外部トランスデューサの誤差は含まない。電圧入力を基準に調整しており、電流入力の場合の切換誤差は±0.2%以内とする。

注2) 応答時間は出力が最終定常値の±1%以内に納まるまでのステップ応答時間である。

ただし、外部トランスデューサの応答時間は含まない。

■ 接続図

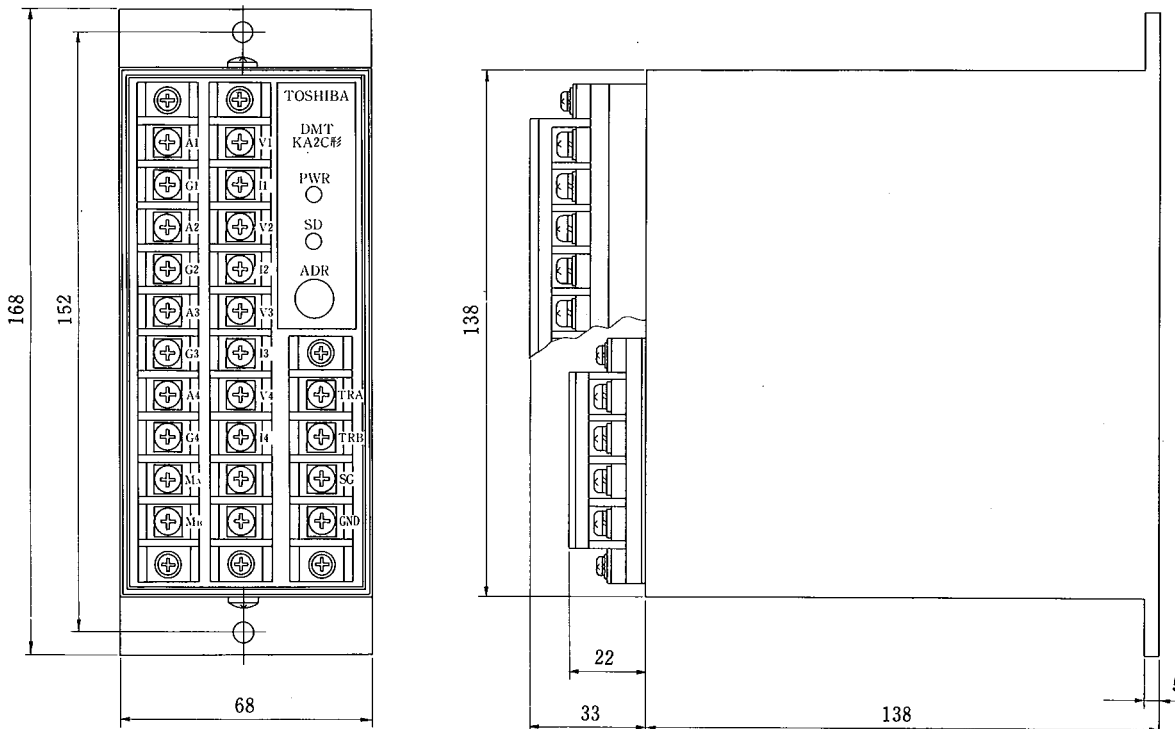


- 注)
1. 伝送線および信号線は、シールド付ケーブルをご使用下さい。
 2. 電流入力の場合は、 V_n と I_n も接続して下さい。

■ ご注文の際は下記事項をご指定ください。

1. 形名

■ 外形寸法図



記載内容は、設計変更その他の理由により、変更させていただくことがあります。

'89. 1 (TU) 初版
'89. 8 (TU) 第2版